

## (1) 町と日本工業大学との連携事業について

令和7年度 連携事業 全 20 事業

[令和6年度 全19 事業]

## 令和7年度 連携事業の取組について

No.	町担当	事業名及び概要	令和7年度の事業実績	事業の効果・課題等
1	地域支援課担当	<b>町民まつり</b> 町民主体のコミュニティまつり	■町民まつり 日時: 令和7年8月23日(土)、24日(日) 10時～20時30分 場所: 東武動物公園駅西口駅前通り コミュニティセンター進修館周辺 内容: 実行委員会への参加 (広報記録・イベント・安全美化委員会) 学生人数: 約70名 (写真部・撮り貴族・学生環境推進委員会・料理研究部)	町民まつりを支える若い力として実行委員会から期待されており、まつりのさらなる盛り上げにつながる。
2	地域支援課担当	<b>進修館家具修繕に向けた調査</b> 進修館家具の維持管理に向けた現況調査	■進修館家具修繕に向けた調査 日時: 令和7年4月1日(火)～令和8年3月31日(火) (主に金曜午前に実施) 場所: コミュニティセンター進修館 内容: 進修館家具修繕に向けた調査 学生人数: 3～4名 (木下研究室)	進修館家具修繕に向けて利用率や劣化・損傷状況を調査
3	環境資源推進課担当	<b>西原自然の森活用事業</b> 西原自然の森の魅力を感じてもらうため、福祉・文化・環境の3つが融合したイベントを実施する。	■西原自然の森フェスタ&すてっぷまつり 竹を使用した竹あそび(竹水鉄砲、竹はしご等)を行った。 学生は、当日の来場者対応等イベント運営を行った。 日時: 令和7年11月16日(日)10時～14時 場所: すてっぷ宮代 参加人数: 120名 学生人数: 4名	イベントの盛り上げに貢献している。学生が関わることで、子どもも気軽にイベントスペースに立ち寄れる雰囲気形成することができた。
4	子育て支援課担当	【令和7年度・新規】 <b>みんなで子育て！こども未来事業</b> 子育て相談や親子の交流事業、子育て家庭支援、子育てひろばの管理運営を実施。	■子育て支援センター リフレッシュ講座「レジン体験」 日時: 令和7年4月17日(木)10時15分～11時15分 場所: 子育て支援センター 子育てひろば 参加人数: 親子11名 学生人数: 2名  ■子育て支援センター合同イベント「こどもまつり」 日時: 令和7年5月17日(土)10時30分～11時30分 場所: 進修館大ホール 参加人数: 親子136名 学生人数: 4名	・学生にとっても保育に関する学びや活躍の場となる。  ・学生の参加により、事業運営を円滑に行うことができ、学生が積極的に参加者とコミュニケーションをとるなど、イベント全体を盛り上げることができる。
5	子育て支援課担当	<b>地域のみんで子どもたちの居場所づくり事業①</b> 子どもが孤立しないための居場所づくりを行う人や活動を応援し、地域の人々が主体となった取り組みを広げる。また、学校に通えない児童生徒のため学外の場を整備し、心の居場所や学びの機会を提供する。	■＼生まれこどもたち／こどもの居場所で遊ぼう！ 場所: すてっぷ宮代 日時: 令和7年11月1日(土)9時30分～12時30分 参加人数: 約50名 学生人数: 1名	こどもたちにとって、年齢に近い大学生と過ごすことで、安心して遊び学習するなど見守りの場となっている。

No.	町担当	事業名及び概要	令和7年度の事業実績	事業の効果・課題等
6	健康高齢者介護支援課担当	<b>認知症まちづくりミーティング</b> 認知症に優しいまちを目指し、認知症の取り組みをきっかけに地元の方を巻き込む仕掛けを検討し、実施。	■ミーティングの開催(5・6・7・8・9・10・11・1・3月開催) ・図書館での認知症パネル展示 令和7年9月12日(金)～10月13日(月・祝) ・共に暮らし共に創る展示会・講演会 令和7年9月21日(日)11時～16時30分@進修館大ホール 大学教員: ・建築学部建築学科生活環境デザインコース ・勝木祐仁 教授、野口祐子 教授、古賀繭子 准教授 ・教育研究推進室 津留宏明 課長、沖田次朗 主任、三本松陽子 氏、守屋優奈 氏	・認知症予防の取組や成年後見制度等の普及啓発の場となっている。 ・認知症をきっかけに助け合いや支えあいの大切さを知ったり、活動者を発掘する機会となっている。
7	健康高齢者介護支援課担当	【令和7年度・新規】 <b>地域介護予防活動支援事業</b> 地域で自主的な介護予防の活動ができるように、人材を育成したり、自主活動グループを支援する事業。	■宮代町プラザサポーター祭り 日本工業大学吹奏楽団(演奏)と町内18カ所を拠点に活動を行っている宮代町プラザサポーター会(地域の介護予防を推進する団体)のコラボレーションにより開催した。 日時:令和7年6月8日(日)10時～12時(うち演奏は10:45分まで) 場所:宮代町進修館 大ホール 演奏:日本工業大学吹奏楽団 イベント参加者:234人	地元大学と市民活動団体、公共施設との連携事例となった。
8	健康介護センター	<b>献血推進事業</b> 大学構内で献血を実施	■「献血」 第1回 令和7年4月14日(月) 47名 第2回 令和7年4月15日(火) 47名 第3回 令和7年4月16日(水) 40名 第4回 令和7年6月9日(月) 22名 第5回 令和7年9月30日(火) 59名 第6回 令和7年10月1日(水) 29名 第7回 令和8年1月9日(金) 41名 合計285名	学生及び大学職員の参加が見込めるほか、献血について普及啓発が期待できる。
9	産商工観光課・ふるさと納税担当	<b>日本工業大学ビジネスプランコンテスト</b> 産学連携起業教育センターが主催する「日本工業大学学生起業家支援プログラムビジネスコンテスト」に町が協賛。	■「第20回ビジネスプランコンテスト」 日時:令和7年10月27日(月) 場所:日本工業大学 学友会館 ・地域課題部門では、宮代町・杉戸町をテーマに実施。 ・既に学内で選出された9名の優秀なビジネスプランの中から、今後の町の政策や産業振興に役立つことが期待されるビジネスプランの立案者に対して町長賞を授与。 ・町長賞受賞者(プラン名) 廣瀬 一機 氏(Aiz～Allによる行政情報/サービス提供システム～) バーチャルアニマルを使った行政サービス情報、観光情報ガイドシステムの提案。	・プレゼンテーションを行った学生と観覧者(企業)がジョイントし、実際のビジネスに発展する可能性もある。 ・セミファイナリストの長谷川丈流 氏が企画した「ほんの気持ち交換会」を日本工業大学LCセンターで開催した。(令和8年3月22日 学生7名参加)学生と地域住民の交流の場となり、今後も継続していくと思われる。
10	教育推進総務課担当	<b>学校給食管理運営事業</b> 栄養指導の際に活用する給食アプリの改良・活用	■給食アプリの改良・活用 令和5年度に開発した、栄養教諭が小中学校の児童生徒を対象とした栄養指導を行う際に活用する給食アプリについて引き続き、先進工学部データサイエンス学科の学生に協力いただき、現場の声を聞きながら改良した。 ゲーム感覚で栄養素等を学ぶことができるアプリ3種類について改良を加えながら、栄養指導において活用した。 学生人数:4名	子どもたちが興味をもって栄養素を学ぶことができるようになった。

No.	町担当	事業名及び概要	令和7年度の事業実績	事業の効果・課題等
11	教育学校推進教育課担当	<b>学力向上推進事業及びキャリア教育事業</b> 児童生徒の学力向上や大学生のキャリア教育について、学生や大学教員と連携して各事業を行う。	■ボランティア体験の受入 学校見学、授業参観、授業補助を行った。 学生人数:1名 日時:百間中学校において週1日程度実施	・専門的な視点からの指導と体験により、児童生徒の学力の育成を図ることができる。 ・児童生徒一人一人の課題に応じた、基礎基本の定着を図ることができる。 ・学生の社会体験・職場体験を通して、豊かな人間性や社会性を身につけることに繋がる。
12	教育学校推進教育課担当	<b>プログラミング教育推進事業</b> 社会の変化に対応した情報教育を推進する。	■「プログラミング教育」 総合的な学習の時間を活用し、町内すべての小学校4～6年生を対象として、児童に年4時間の授業を設定。主な内容として、小学生でもプログラミングができるソフト「Scratch(スクラッチ)」を用いてプログラミング的思考を学んだ。 日時:令和7年6月～令和7年11月 対象:町内の小学校4～6年生、年間4時間	・プログラミングの基礎的な知識や方法について学ぶ機会を提供することができた。 ・各学年児童の発達段階に応じて指導計画を修正し、実施することができた。  (課題) プログラミング教育の適切な実施時期や内容等について大学、教育委員会、小中学校で連携・協力し、改善を図る。
13	教育学校推進教育課担当	<b>日工大サイエンスプロジェクト</b> 小中学校の理科の授業において、大学の施設や設備を使った専門家による科学実験を通して、子どもたちが興味をもって、自ら学ぶプロジェクトを実施する。	■日工大サイエンスプロジェクト ・小学校の理科の授業の実施 日時:令和8年2月25日(水)、26日(木) 場所:日本工業大学 対象:須賀小、百間小、東小、笠原小の6年生 講師等: 共通教育学群(心理学) 瀧ヶ崎隆司 教授 共通教育学群(物理学) 佐藤杉弥 教授 共通教育学群(物理学) 服部邦彦 教授 SDGs for Engineers (学生) 学生環境推進委員会  ・中学校の理科の授業の実施 日時:令和8年3月4日(水)、5日(木) 場所:日本工業大学 対象:須賀中、百間中、前原中の2年生 講師等: 共通教育学群(心理学) 瀧ヶ崎隆司 教授 共通教育学群(物理学) 佐藤杉弥 教授 共通教育学群(物理学) 服部邦彦 教授 基幹工学部応用科学科 芳賀健 教授 基幹工学部電気電子通信工学科 清水博幸 准教授 基幹工学部電気電子通信工学科 内野翔太 助教 先端材料技術研究センター 鈴木学 助手  ・日本工業大学の教員による小中学校の教員を対象にした研修の実施 日時:令和7年8月25日(月) 場所:日本工業大学 内容:2学期以降の学習内容を中心とした研修 参加人数:小中学校教員(20名)	理科の授業において、大学の施設や設備を使った専門家による科学体験を実施する。子どもたちの理科に対する興味・関心を高め、理科好きの子どもを育成し、自ら学ぶ児童生徒を育成する。

No.	町担当	事業名及び概要	令和7年度の事業実績	事業の効果・課題等
14	教 生 涯 推 進 学 習 課 ・ ス ポ ー ツ 振 興 担 当	<b>子ども大学みやしろ</b> 地域の学校、行政(県町)、 企業、市民が連携して、子 ども(小学校4～6年生)の 知的好奇心を満足させる学 びの機会を提供する。	■「子ども大学みやしろ」 場所:日本工業大学(全5回の講義のうち下記3回を大 学側が担当) 対象:町内在住の小学校4年生～6年生 講義内容: ①「LEDを光らせるアプリを作成してみよう!①」 日時:令和7年9月7日(日) 講師:先進工学部データサイエンス学科 桑野 文洋教 授 ②「SDGsチャレンジ“学んで作って未来を変えよう”」 日時:令和7年11月9日(日) 講師:学生環境推進委員会 ③「LEDを光らせるアプリを作成してみよう!②」 日時:令和7年11月30日(日) 講師:先進工学部データサイエンス学科 桑野 文洋教 授  ・令和7年度子ども大学みやしろ実行委員会 学長: 先進工学部データサイエンス学科 桑野 文洋教授 実行委員長:共通教育学群 瀧ヶ崎隆司 教授	日常では得ることが難しい分野の学びや体 験、交流の機会を提供し、子どもたちの学 びの意欲の高揚等を促すことができた。
15	教 生 涯 推 進 学 習 課 ・ ス ポ ー ツ 振 興 担 当	<b>みやしろ大学</b> 宮代町にお住まいのシニア 世代の方たちが、健康で心 豊かに過ごすための知識 や技術を向上促進してい た場。	■「みやしろ大学」 日時:令和8年1月20日(火)10時～11時30分 場所:コミュニティセンター進修館 大ホール 講義内容:「身の回りの音について考えよう」 講師:基幹工学部 電気情報工学科 大田健紘 准教 授	シニア世代の向学心・知識欲への期待に応 え、健康で心豊かな生涯学習活動に寄与 する。  (課題) 高齢化に伴い、事業の企画立案や大学運 営を担う運営委員が減少している。運営委 員の確保や会の在り方については課題。
16	教 生 涯 推 進 学 習 課 ・ ス ポ ー ツ 振 興 担 当	<b>図書館運営事業</b> 図書館の利用促進を目的 に、図書館指定管理者が企 画開催する。  【主催】 指定管理者:図書館流通セ ンター	■認知症合同展「あしたのわたしと認知症」 9月の認知症月間を受けて認知症への理解を深める ための合同展。パネル展示や映画上映を実施。 日時:令和7年9月12日(金)～10月13日(月・祝) 9時30分～16時 場所:町立図書館 展示ホール、ホール 大学教員: 建築学部建築学科 生活環境デザインコース 勝木 祐仁 教授	町健康介護課、町社会福祉協議会、地元 大学との官民学連携事業となった。

No.	町担当	事業名及び概要	令和7年度の事業実績	事業の効果・課題等
17	教 生 涯 推 進 学 進 習 課 ・ ス ポ ー ツ 振 興 担 当	<b>図書館運営事業</b> 図書館の利用促進を目的に、図書館指定管理者が企画開催する。 <b>【主催】</b> 指定管理者：図書館流通センター	<b>■日本工業大学特別講演会「暮らしの記憶を紡ぎ合う～宮代発「まちをアルバムにする」とそこから生まれた取り組みの紹介～」</b> 日本工業大学特別講演会として、町民の生涯学習に資するよう、身近な例を挙げ最新の技術などを解説。 日時：令和7年10月13日（月・祝）14時～15時30分 場所：町立図書館 ホール 講師： 建築学部建築学科 生活環境デザインコース 勝木 祐仁 教授	地元大学と公共施設の連携事例となった。
18	教 生 涯 推 進 学 進 習 課 ・ ス ポ ー ツ 振 興 担 当	<b>図書館運営事業</b> 図書館の利用促進を目的に、図書館指定管理者が企画開催する。 ※右記の企画は日本工業大学の提案 <b>【主催】</b> 日本工業大学 指定管理者：図書館流通センター	<b>■日本工業大学のモノづくりギャラリーin図書館</b> 日本工業大学の学生が実践的な工学教育の成果として製作した、フォーミュラカーやロボットなどの作品を展示。 日時：令和7年12月17日（水）～12月21日（日） 9時30分～18時 場所：町立図書館 展示ホール	地元大学と公共施設の連携事例となった。
19	教 生 涯 推 進 学 進 習 課 ・ ス ポ ー ツ 振 興 担 当	<b>図書館運営事業</b> 図書館の利用促進を目的に、図書館指定管理者が企画開催する。 <b>【主催】</b> 指定管理者：図書館流通センター	<b>■「第31回おとなのための昔話と音楽のつどい」</b> 日本工業大学吹奏楽団（演奏）と町立図書館を拠点に活動を行っている宮代おはなしの会「スウス」（昔話等のお話）のコラボレーションにより毎年度開催している。 日時：令和8年2月22日（日）14時～16時 場所：町立図書館 ホール 演奏：日本工業大学吹奏楽団	地元大学と市民活動団体、公共施設との連携事例となった。
20	教 生 涯 推 進 学 進 習 課 ・ ス ポ ー ツ 振 興 担 当	<b>【令和7年度・新規】</b> <b>みやしろ芸術祭</b> 町民文化祭の後を継ぐ宮代町の新たな文化芸術の祭典として、町の文化芸術の振興と発展に貢献することを目的として開催。	<b>■宮代町制70周年記念事業 みやしろ芸術祭</b> <b>”エン”を楽しむ音楽祭 - MIYASHIRO MUSIC PARK -</b> 日時：令和7年11月23日（日）10時～18時 場所：進修館大ホール 協力：日本工業大学 放送研究部	放送研究部と連携し、音響・照明等の技術支援を受けることで、専門性を活かした安定的かつ円滑な舞台運営体制を構築できた。学生の実践機会の創出にも寄与した取組となった。 （課題） ・機材の運搬や設営に多くのマンパワーと時間を要する。 ・学生の試験や長期休暇あるいは学内行事の期間を考慮する必要がある。

#### その他の連携

- 防災活動事業（災害時の町指定避難所としての活用）